

参考文献表

(1) 各テーマに関する文献

- 【 - 1】柿沼利昭編『公民の話教材』明治図書、平成4年。河原和之他『新経済学習のとびら』日本書籍、平成4年。沢田洋太郎他『新公民学習のとびら』日本書籍、平成4年。
- 【 - 2】全民研編『手に取る公民・現代社会教材』地歴社、平成3年。
- 【 - 3】相原正義他『新環境教育のとびら上・下』日本書籍、平成4年。三和総合研究所『手にとるように環境問題がわかる本』かんき出版、平成9年。
- 【 - 4】愛知県高等学校郷土史研究会『新版愛知県の歴史散歩 上・下』山川出版社、平成4年。塚本学・新井喜久夫『愛知県の歴史』山川出版社、平成9年。林英夫『図説 愛知県の歴史』河出書房新社、昭和62年。愛知県社会科教育研究会尾張部会『尾張散歩』平成2年。日下英之『美濃路』愛知県郷土史料刊行会、昭和60年。大林淳男『図説東三河の歴史』郷土出版社、平成8年。
- 【 - 5】林英夫監修『愛知県の地名』平凡社、昭和56年。谷川彰英『地名を生かす社会科の授業』黎明書房、昭和61年。
- 【 - 6】水落潔『歌舞伎鑑賞事典』東京堂出版、平成5年。大隅和雄他『日本架空伝承人名事典』平凡社、昭和62年。藤田洋『おもしろ講談ばなし』日本放送出版協会、平成4年。野ばら社編集部『唱歌』野ばら社、平成6年。交通博物館編『鉄道唱歌の旅』交通文化振興財団、昭和46年。瀧川栄太『戦後教科書から消された文部省唱歌』ごま書房、平成9年。
- 【 - 7】大津悦夫『見学学習と博物館・資料館の生かし方』、『授業をつくる』大月書店、平成6年、所収。高文研編『修学旅行企画読本』高文研、平成7年。
- 【 - 8】歴史教育者協議会編『地域史に学ぶ(新しい歴史教育第4巻)』大月書店、平成6年。
- 【 - 9】家長知史『世界史映画教室』、岩波ジュニア新書、平成10年。伊藤弘成『シネマトーク』山川出版社、平成9年。家長知史『映画で学ぶ世界史』地歴社、平成6年。藤田雅之『映画の中の日本史』地歴社、平成9年。
- 【 - 10】溝上泰他編『授業技術の開発と使い方のアイデア』明治図書、平成7年。溝上泰他編『時事問題の教材開発と指導のアイデア』明治図書、平成7年。岸尾祐二『誰でもできるNIEガイド』東洋館出版社、平成10年。
- 【 - 1】河野睦也『学習ノートの指導』明治図書、昭和59年。
- 【 - 2】前川貫治『世界史質問ノート』(兵庫県立三木東高校)、平成9年(非売品)竹下裕隆「なぜ世界史を学習するのか? : 疑問形で取り組み、生徒の自問自答を通して歴史的思考力を高める授業の工夫」(平成10年度愛知県教育センター研究発表会史料)
- 【 - 3】田中美知太郎『ソクラテス』岩波新書、平成9年。岩浅農也『教師の話し方と表現力』国土社、昭和59年。日台利夫『社会科授業技術の理論』明治図書、昭和56年。
- 【 - 4】池田央『新しいテスト問題作成法』第一法規、昭和55年。梅津正美『地理歴史科教育の評価論』、社会認識教育学会編『地理歴史科教育』学術図書出版社、平成8年、所収。
- 【 - 5】朝日新聞社編『絵画史料の読み方』朝日新聞社、平成10年。大久保利謙他『史料にみる日本の歩み 中世編』吉川弘文館、平成7年
- 【 - 6】毛利敏彦『大久保利通』中央新書、昭和51年。飛鳥井雅道『歴史を創った人々 西郷隆盛』平凡社、昭和53年。黒羽清隆『人物史で学ぶ日本の歴史』地歴社、昭和55年。梅野正信他『西郷・大久保・東郷 論争点を授業する』明治図書、平成3年。
- 【 - 7】朝倉隆太郎編『社会科学習における作業的学習の開発』現代社会科教育実践講座刊行会、平成3年。
- 【 - 8】林達明『『相互イメージ学習』から歴史的思考力を伸ばす試み』(平成10年度愛知県教育センター研究発表会資料)
- 【 - 9】羽淵強一『社会科授業に向くディベート論題』明治図書、平成10年。
- 【 - 10】フィッシャー他『ワールド・スタディーズ - 学びかた・教えかたハンドブック』国際理解教育・資料情報センター、平成3年。ファウンテン『いっしょに学ぼう - 学びかた・教えかたハンドブック』国際理解教育・資料情報センター、平成6年。開発教育推進セミナー編『新しい開発教育のすすめ方』古今書院、平成7年。『参加型で伝える 12 のものの見方・考え方』国際理解教育センター、平成9年。『新版 ファシリテーター入門』、エコ・コミュニケーションセンター、平成9年。
- 【 - 1】NHK取材班『大モンゴル』全4巻、角川書店、平成4年。熊谷幸次郎『日本史主題学習の研究』、法律文化社、昭和43年。都築亨『世界史教育の理論と

世界史の構成』桐書房、平成元年。歴史教育者協議会『100問100答世界の歴史』河出書房新社、平成2年。

【-2】佐藤郡衛編『国際理解教育の考え方・進め方』教育開発研究所、平成9年。岡部一明『多民族社会の到来』お茶の水書房、平成3年。

【-3】文部省『環境教育指導資料(中・高校編)』平成3年。佐島群巳編『環境教育の考え方・進め方』教育開発研究所、平成9年。

【-4】文部省『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』『同 公民編』平成元年。

【-5】東京都高等学校倫理・社会研究会編『公民科「倫理」「現代社会」教材化の研究』東京書籍、平成6年。横山利弘『在り方生き方教育 その理論と実践の手引き』学陽書房、平成6年

【-6】『しりごみしている先生のためのインターネット講座』日本放送出版協会、平成10年。村瀬正幸『政治・経済』におけるインターネットの活用』(平成10年度愛知県教育センター研究発表会資料)。『社会科教育3月別冊「パソコン・インターネットで拓く新社会科の授業作り」』明治図書、平成11年3月。

【-7】安彦忠彦・名古屋大学教育学部附属中学・高等学校『中・高「総合学習」のカリキュラム開発』明治図書、平成9年。『月刊高校教育 特集 総合的な学習の時間実践の手引き』学事出版、平成10年12月号。勝又明幸『社会科とクロスの「総合学習」を創る』明治図書、平成10年。『教育科学社会科教育特集「総合学習と関連づけた単元開発モデル」』明治図書、平成11年4月。

(2) 地理歴史科・公民科教育全般にわたる文献

杉山光男『若い教師のための社会科授業相談』明治図書、昭和60年。山吉泰夫他『中学校社会科の授業技術入門』明治図書、昭和58年。社会認識教育学会編『地理歴史科教育』、『公民科教育』学術図書出版社、平成8年。篠原昭雄編『授業改善の基礎理論』明治図書、昭和59年。歴史教育者協議会編『授業作りのヒント上・下』あゆみ出版、昭和58年。教育活性化研究会編『子どもを生かす教育活動チェックリスト』東洋館出版社、昭和63年。安田元久編『歴史教育と歴史学』山川出版社、平成3年。白井嘉一他『新しい中等社会科へのいざない』地歴社、平成4年。都築亨編『地理歴史科教育を考える』杉山書店、平成5年。愛知県教育センター『授業の手引き(社会科)』平成2年度版(県立学校)。上山英昭編『話題源地理』『同 歴史』『同 公民・政経』とうほう、昭和63年。

(3) 世界史教育に関する文献

綿引弘『手に取る世界史教材』地歴社、平成元年。樺山紘一『世界を俯瞰する眼(比較社会史入門)』新書館、平成11年。福井憲彦『歴史学の現在』日本放送出版協会、平成9年。千葉県高等学校教育研究会歴史部会編『新しい世界史の授業』山川出版、平成4年。千葉県歴史教育者協議会『授業に役立つ世界史100話上・下』あゆみ出版、平成元年。同『たのしくわかる世界史100時間上・下』あゆみ出版、昭和61年。

(4) 日本史教育に関する文献

千葉県高等学校教育研究会歴史部会編『新しい日本史の授業』山川出版、平成4年。千葉県歴史教育者協議会『授業に役立つ日本史100話上・下』あゆみ出版、平成2年。宮内正勝他『手に取る日本史教材・入手と活用正・続』地歴社、平成3年。阿部泉『手に取る日本史モノ教材・入手と活用 正・続』地歴社、平成5年、10年。白河隆信『歴史モノ教材で授業を変える』地歴社、平成5年。加藤公明『考える日本史授業1・2』地歴社、平成4年、7年。青木美智夫他編『教員になる人のための日本史』新人物往来社、平成10年。古川清行他編『子どもが生き生き学ぶ社会科』東洋館出版社、平成2年。『もっと知りたいデータが語る日本の歴史』ほるぷ出版社、平成9年。歴教協編『前近代史の新しい学び方』青木書店、平成8年。同編『地域史に学ぶ』大月書店、平成6年。大濱徹編『歴史教育の新地平』開成社、平成9年。

(5) 地理教育に関する文献

相澤善雄他編『世の中と地理』古今書院、平成8年。地理教育研究会編『授業のための世界地理』古今書院、平成6年。星村平和他編『世界の国々トレンドガイド』明治図書、平成10年。渋谷文隆編『新高校地理授業の工夫とアイデア』古今書院、平成6年。

(6) 公民科教育に関する文献

全民研編『授業に役立つ公民・現代社会100話上・下』あゆみ出版、平成3年。全民研編『楽しくわかる現代社会100時間上・下』あゆみ出版、昭和63年。大野一夫編『公民の授業65時間』地歴社、平成10年。

月刊の雑誌としては、『地理』(古今書院)、『地理歴史教育』(歴史地理教育者協議会)、『社会科教育』(明治図書)などがある。